保護者用

安全指導

食中毒予防

R6.9.7

こどもプラス唐津第2教室

残暑厳しく、まだ暑い日が続いておりますが皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。さて、令和6年4月1日より児童・保護者に対する安全指導（事業所の生活における安全・災害や事故発生時の対応・交通安全等）保護者様への説明と共有が義務化されました。7月～9月は「水遊び時の事故防止」「熱中症対策」「食中毒予防」となっております。

9月は「食中毒予防」についてお知らせいたします。

【教室での取り組みについて】

こどもプラスでは、子どもたちがより良い環境で学びや遊びを楽しむために、さまざまな取り組みを行っています。

1. 衛生対策

教室内の共有スペースや机、ドアノブなど子どもたちが頻繁に触れる場所など教室全体を定期的にアルコールで消毒しています。その他にも手洗いの呼びかけを徹底し、子どもたちが正しい手洗いができるように、手洗いの手順を書いたポスターを掲示するなどの取り組みを行っています。

2. 換気

窓は普段から開けていますが、30分～1時間ごとにすべての窓、扉を開けて5分程空気の入れ替えをしています。

3. つけない、ひろげない、ふやさない、やっつける（ノロウイルス食中毒予防の四原則）

教室にて調理イベントをするときは食中毒予防の四原則をしっかりと守って感染症がおらないようにしています。

【ノロウイルスについて】

1. 症状

ノロウイルスは体内に入った後、「腹痛・下痢・吐き気・嘔吐」の症状を引き起こします。

潜伏期間は12～48時間です。

発熱は約37～38℃の軽度で、発症後、通常であれば1～2日程度で症状は治まります。

2. 対処法

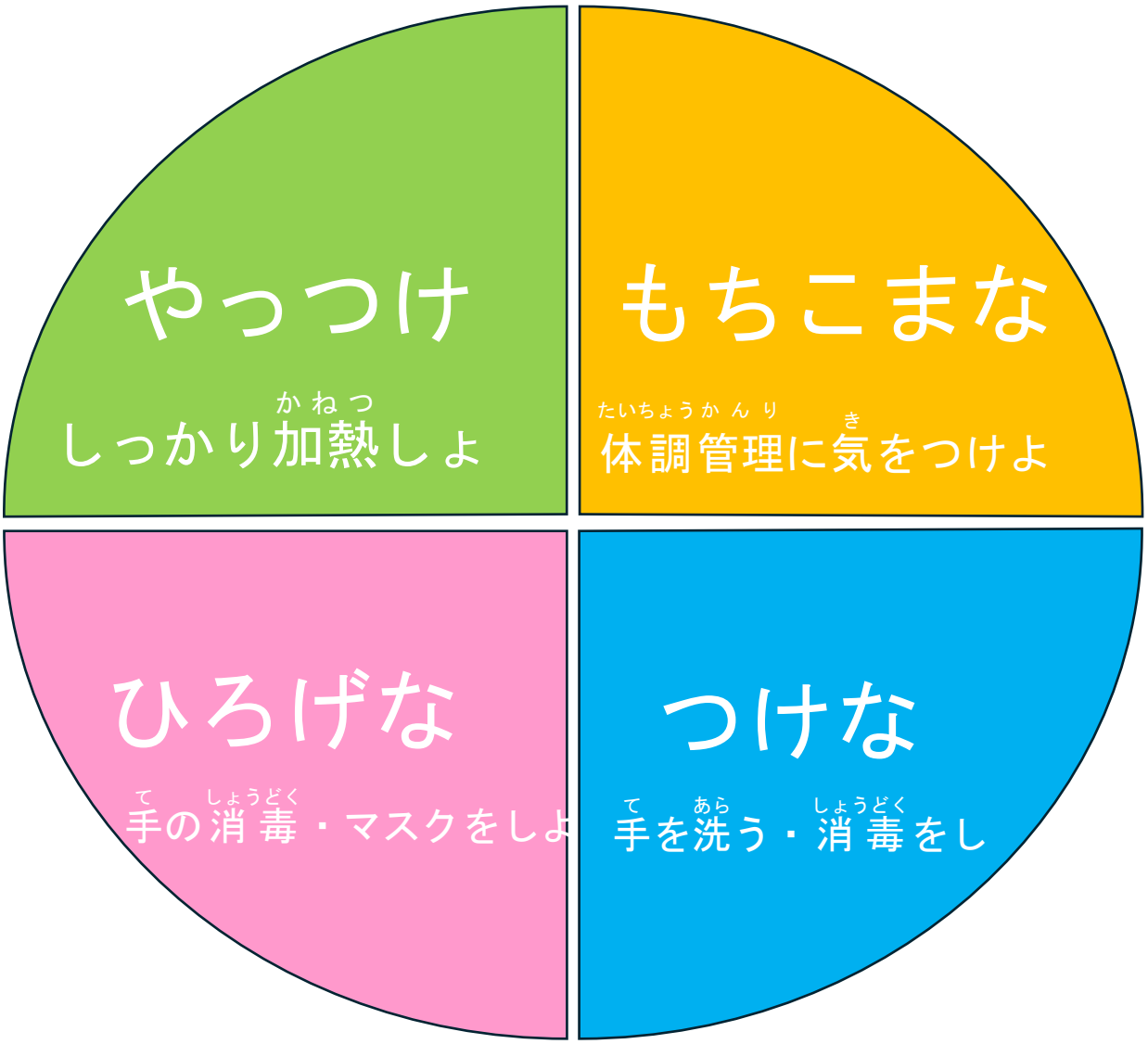
ノロウイルスには有効な抗ウイルス剤がなく、対症療法が行われます。特に抵抗力の弱い方が感染すると、「脱水症状」になりやすいので、症状が少し落ち着いた時に、少しずつ水分補給を行ってください。

3. 感染経路

ノロウイルスは主に経口感染で、ノロウイルスに汚染された二枚貝などを摂取することで感染します。手洗い・うがい・除菌の徹底をご家庭でもお願いいたします。

児童用

ノロウイルス食中毒予防とは？



正しい手の洗い方を知ろう！